

# ～地区懇談会を開催します～

## 市立小中学校の適正配置などについて 皆様のご意見をお聞かせください

今後の小中学校の適正規模・適正配置の在り方について、平成25年3月に「佐野市立小中学校適正配置等検討委員会」から佐野市教育委員会へ答申書が提出されました。

教育委員会では、この答申書に沿って小中学校のより良い教育環境の整備を踏まえた、適正配置などの基本計画を策定していく予定です。

そこで、各中学校の校区ごとに答申書の概要や学校の現状などを説明する懇談会を開催します。地域の皆様のご意見やお考えをお聞きし、適正配置などの基本計画に反映させていく考えです。皆さんの参加をお待ちしております。

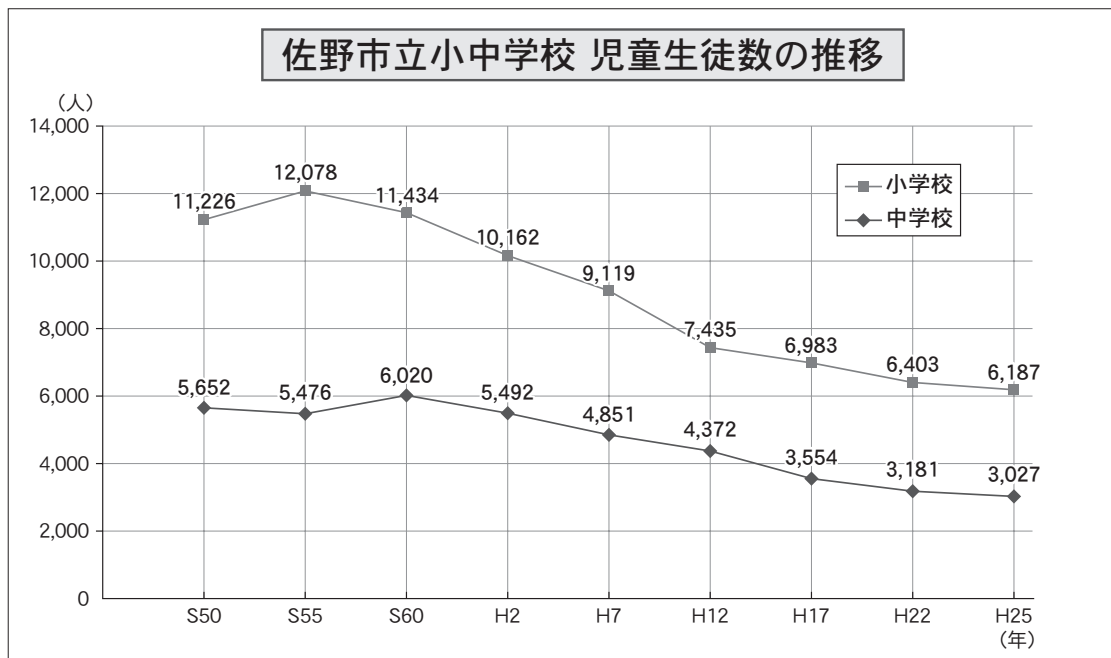
### ○小中学校適正配置などについての地区懇談会 開催日程

	区 域	日 時	場 所
1	常盤中学校区	7月29日(月)午後7時～	常盤地区公民館ホール
2	葛生中学校区	7月31日(水)午後7時～	葛生あくとプラザ小ホール
3	田沼西中学校区	8月1日(木)午後7時～	田沼中央公民館視聴覚室1・2会議室
4	赤見中学校区	8月5日(月)午後7時～	赤見地区公民館ホール
5	吾妻中学校区	8月7日(水)午後7時～	吾妻地区公民館ホール
6	田沼東中学校区	8月8日(木)午後7時～	田沼中央公民館視聴覚室1・2会議室
7	西中学校区	8月19日(月)午後7時～	佐野市中央公民館第1・2会議室
8	北中学校区	8月21日(水)午後7時～	犬伏地区公民館ホール
9	城東中学校区	8月23日(金)午後7時～	城北地区公民館第1～3会議室
10	南中学校区	8月26日(月)午後7時～	植野地区公民館ホール

## 児童生徒数はピーク時の半数に

昭和50年以降の佐野市の児童生徒数は、小学校では昭和57年がピークで12,158人、中学校では昭和61年がピークで6,269人でした。平成25年5月現在、小学校では6,187人、中学校では3,027人となっています。

30年間で児童生徒数がピーク時の約半数に減少しています。推計では今後さらに減少していくことが見込まれています。



## 佐野市立小中学校適正配置等検討委員会

酒井一博委員長（宇都宮大学教授）、津布久捨三郎副委員長（元田沼町教育長）をはじめ、有識者20人で組織された検討委員会は、平成24年8月から計8回にわたる会議を開催しました。児童生徒を取り巻く状況や地域の実情、社会情勢の動向などを考慮しつつ、次代を担う子どもたちに、より良い教育環境を提供していくためにどのような方法があるか、多方面から検討を行い、答申書を提出しました。

### ○答申の主な項目

- ・標準規模を下回ることによる教育上の課題の整理・克服
- ・佐野市としての標準規模
- ・通学距離および通学時間などについて
- ・小中一貫教育と適正配置などの関連
- ・複式学級のある小学校の適正規模化を図る など



検討委員会の様子

※検討委員会の答申書などについての詳細は、市ホームページに掲載しています

市ホームページ → 各課のページ → 教育総務部教育総務課

### ◎法令に規定する学校規模の標準

学校教育法施行規則第41条、第79条より「小学校の学級数は12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情あるときは、この限りでない」[第41条は中学校に準用する]

### ◎複式学級

小学校の場合、1年生を含む場合は、2個学年合わせて8人以下、2年生以上の時は16人以下で複式学級を編制します。中学校の場合は、8人以下で、複式学級を編制します。